

JENESYS2015 派遣プログラム (ミャンマー／大学生・大学院生) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ミャンマーへ日本の大学生・大学院生 23 名が派遣され、日本の政治、社会、歴史、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2016 年 1 月 19 日から 1 月 27 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加大学・人数

大阪大学 (5 名)、筑波大学 (5 名)、横浜国立大学 (5 名)、立命館大学 (5 名)、大阪教育大学 (1 名)、大阪教育大学大学院 (2 名) 計 23 名

3. 訪問国

ミャンマー連邦共和国

4. 日程

1 月 19 日 (火)	出発前簡易オリエンテーション 成田国際空港より出発、バンコク経由でヤンゴン着
1 月 20 日 (水)	【表敬訪問】在ミャンマー日本国大使館 【ODA サイト視察】ミャンマー日本人材開発センター
1 月 21 日 (木)	【学校交流】ヤンゴン教育大学
1 月 22 日 (金)	【学校交流】バゴー第 3 基礎教育高等学校
1 月 23 日 (土)	【ホームビジット】バゴー第 3 基礎教育高等学校生徒宅
1 月 24 日 (日)	【歴史/文化】国立博物館、ボーヂョーアウンサンマーケット、 シュエダゴオン・パゴダ 【訪問】ヤダナポン・イエク・ネイン僧院学校
1 月 25 日 (月)	【日系企業訪問】NTT データ・ミャンマー 【ワークショップ】報告会準備
1 月 26 日 (火)	成果報告会、歓送会、ヤンゴン発 (バンコク経由)
1 月 27 日 (水)	成田国際空港到着

5. JENESYS2015 派遣プログラム記録写真（派遣国：ミャンマー）大学生・大学院生

	
1/20 表敬訪問（在ミャンマー日本国大使館）	1/20 視察 （ミャンマー日本人材開発センター）
	
1/21 学校交流①（ヤンゴン教育大学） 日本の魅力発信	1/22 学校交流②（バゴー第3基礎教育高等学校）日本の魅力発信
	
1/23 ホームビジット（ホストファミリーと）	1/26 成果報告会

6. 参加者の感想

◆ 立命館大学 大学生

この8日間のミャンマー派遣プログラムの様々な経験の中で、日本とミャンマーのビジネスパートナーとしての相性の良さを知り、驚きました。中でも、私の興味を強く惹いたのは、ミャンマー在住の日本人の方々が語るビジネスパートナーとしてのミャンマーの姿です。派遣前からミャンマー国の経済的な魅力については多少把握していましたが、現地のビジネス現場で日本人の方々が口々に語られるのは、「ミャンマーはただの途上国ではない」ということです。私はその言葉に強く同感し、日本のビジネス界にとって「ミャンマーは重要な国ある」と確信しました。更に、この確信を強化してくれたのは、誠実で愛嬌のあるミャンマーの人々との現地での触れ合いでした。私はミャンマーの人々と一緒に仕事をする自分の姿や、日本とミャンマーが協力し、将来にわたって共に発展していく姿を思い描きました。この青写真を基に、日本とミャンマーの友好関係構築と国の発展に貢献したいという意味を持って、日本人にはミャンマーは日本の良き友であり重要なビジネスパートナーであることを伝え、ミャンマー人には日本の経営手法や価値観や文化を伝えていくつもりです。

◆ 横浜国立大学 大学生

ミャンマー派遣プログラムを通じて、若者が①公式プログラムを通じて得ることができる経験の多さ、有意義さ、②五感をフル稼働して非日常を体験することの大切さ、③発表する「日本の魅力」に関する十分な議論と万全の準備の必要性、④国の代表としての十分な気構えの重要性、を感じました。また、ミャンマーの人々の他人への思いやり、尊敬、気遣い、言動には毎回ハイレベルなミャンマー流おもてなしを感じました。このプログラムで出会った人々との繋がりを大切にして、日本とミャンマーの架け橋となっていきたいと思います。また、同年代である他の日本人学生や現地の学生との交流を通じて刺激し合える生活を送ることができたのも大きな収穫でした。

◆ 大阪大学 大学生

第2次世界大戦の日本軍の行為にもかかわらず、ミャンマーの人々の日本語力と強い親日的態度が最も印象に残りました。これは、日本との親日感情を増やすように活動して下さった先人の方々の努力の賜だと思います。特に、「ミャンマーは日本に対して、日本との過去の関係ではなく、未来の関係を重視し、大切にすると宣言した最初の国である」という、在ミャンマー日本国大使館での説明には大変感銘を受けました。この関係は、今後も守り続けなければならないと強く思いました。このプログラムを通じて、ミャンマーの文化・歴史・実態を勉強し体験しました。ミャンマーの人々の優しさ、温かさを肌で感じ、将来にとっても学びが多いプログラムでした。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）

4th Capture Japan Project (CJP) Rediscovering → Capturing → Sharing Japanese ... • Traditional festival • Traditional and modern dance • Beautiful scenery - etc. 8	4th For example ~what we have done~ Saran nakajima Kirari Fujisawa Kyoichi Ishi 30				
アクションプラン：日本の魅力発信プロジェクト (Capture Japan Project (CJP)：日本の魅力の写真やビデオを SNS に掲載)	アクションプラン例：インスタグラム、Facebook、YouTube を通じた日本の魅力発信例				
2nd Japanese Food, Washoku • Added to UNESCO's <i>Intangible Cultural Heritage</i> (2013) • 4 Characteristics of Washoku 1. Fresh and various ingredients, respecting the ingredient's natural flavor 2. Supporting healthy eating habits with rich nutrition balance 3. Expression of natural beauty and season change 4. Closely related to annual events such as new year	2nd Action plan Who • In the future, students who become teacher When • Anytime How • SNS (Facebook, Twitter...)				
日本の魅力：健康に良い和食	アクションプラン：将来、教師を目指す学生に向けて SNS 等を利用して発信				
5th About Myanmar to Japanese Japanese don't know about Myanmar so much 33	5th Presentation at super global high school <table border="1"> <thead> <tr> <th><WHAT></th> <th><WHY></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1. Myanmar characteristic 2. Myanmar food 3. Everyday Longyi 4. Foreign language level 5. Facebook 6. Good relationship between Minorities and Burmese </td> <td> 1. Next generation 2. Global-oriented 3. Good school environment and many chances </td> </tr> </tbody> </table> 35	<WHAT>	<WHY>	1. Myanmar characteristic 2. Myanmar food 3. Everyday Longyi 4. Foreign language level 5. Facebook 6. Good relationship between Minorities and Burmese	1. Next generation 2. Global-oriented 3. Good school environment and many chances
<WHAT>	<WHY>				
1. Myanmar characteristic 2. Myanmar food 3. Everyday Longyi 4. Foreign language level 5. Facebook 6. Good relationship between Minorities and Burmese	1. Next generation 2. Global-oriented 3. Good school environment and many chances				
アクションプラン：ミャンマーの魅力を伝えよう	アクションプラン：スーパーグローバルハイスクールでの発表				